

神奈川芸術プレス Vol.100

May, 2011



八嶋智人

5

ARTS
PRESSES

KANAGAWA



CREATOR'S VOICE 119 俳優

八嶋智人

対談 宮本亜門

ミュージカル『太平洋序曲』

宮本亜門演出『太平洋序曲』
ここ神奈川より、6月に出航!

丹沢・大山エリアに注目!

神奈川芸術プレス100号記念特集

八嶋智人

Norito Yashima 俳優

対談 宮本亜門×八嶋智人 ミュージカル『太平洋序曲』

KAAT神奈川芸術劇場・芸術監督、宮本亜門の代表作のひとつであるミュージカル『太平洋序曲』。

本作は2000年の新国立劇場での日本初演時から、

なぜか、その時々「事件」に重なるかたちで上演されてきた。

00年には世紀末の不安定な世相に、02年米国公演では9・11同時多発テロ直後の混乱に、

04年ブロードウェイ公演ではイラク戦争の争乱に、

呼応するかたちでビビッドに現実を映しとってきた。

よもや新キャストを迎えての6年ぶりの再演時にはなにもないであろうと思っていた矢先、

このたびの東日本大震災が発生した。

果たしていまの状況下で、本作はどのように人心に響くのか。

神妙な面持ちの演出家と主役・香山^{かやま}弥左衛門役の八嶋智人に話を訊いた。

—本作はつねに世界的な事件に重なる時期に上演されてきました。今回も大惨事が日本で起きてしまった後での公演となります。このような時期に本作を再演することに対して、現時点ではどのようなお気持ちですか。

亜門 | まずこのような大災害が起きてしまったことに対しては、本当に言葉にしようのない悲しみでいっぱいです。ただこのような時期だからこそ、本作を通して、

いろいろと僕もお客さんも、平時以上に考えさせられることが出てくることは事実だと思います。この『太平洋序曲』という作品は、ものすごくテーマが巨大な作品で、たいがいのミュージカルのように恋愛だとか革命だとかそういう簡単なことではおさまらないんですね。日本の政治は、日本という国家は、日本人の生き方はどうなんだ。そういうことを俯瞰的な立場から問う作品なんです。ですからブロードウェイ初演時の1976年

から、時代の変化とともに作品が変わってきていて、たとえば僕も2002年公演時には『ネクスト』という最終曲に、「9・11を受け、自衛隊を海外に派遣」という台詞をつけくわえた。つまりどんどん作品が「苦く」なっているんです(笑)。そういう意味でも今回のラストがどう見えてくるのか、僕自身興味深く思っています。

八嶋 | 率直な感想として、僕も最初に台本を読ませてもらったとき、『ネクスト』というラストナンバーには身震いを覚えました。それまでは自分の演じる香山役を追うかたちでわりと淡々と読んでいたんですけど、急に具体的に現実とリンクする問題が押し寄せてきて「こわっ」と後ろにのけぞってしまった。とはいえ今回は震災のこともあるので、ただの不安や心配でラストが終わるのではなく、もう少し単純な団結力やあったかさも見えてくるかも。苦みがあったうえでネクスト、つまり日本の次のステップが見えてくればいいなと思っています。

亜門 | 黒船が来て、安政の大地震が起きて、ずっとのちには原爆まで落とされて……。それでも日本人は、這い上がって、必死に、生きていく。そういうセンチメンタリズムではない人間のしぶとい生命力が見えてくればいいですね。もちろん、ソンドハイムの素晴らしい音楽の力も借りてね。

—おっしゃるように本作ではスティーブン・ソンドハイムの素晴らしい楽曲が、全編を牽引していきます。ただ一般的にお客さんが思う華々しいミュージカルナンバーとは異なる、異色な楽曲ばかりです。

亜門 | ソンドハイムという人は不思議な方で、ブロードウェイ・ミュージカルのドンだとか言われながら「僕はミュージカルアクターが大嫌いなんだ!」とか叫ぶ。まあ、これは彼なりの叱咤激励かもしれませんが(笑)。つまり彼は朗々と意味もなく歌いあげてしまう、ベタなミュージ



ジカルが嫌いな人で、だから本作では一曲たりともベタじゃない。日本についての作品なのに、ラテン系の音楽が入ったり、エリック・サティのような音楽が入ったり、本当に不思議。あと、八嶋さんはこれからきっとご苦労なさると思うんですけど、オーケストラが一音も歌手の主旋律を奏でてくれないんです。だからソンドハイムは歌いやすさよりも、人間の複雑な心情を適確に音符で表すことに心血をそそいで曲を作っているんです。

八嶋 | 今日も午前中に歌の自主稽古をしてきたんですけど、本当に「やりにくい」曲ばかり(笑)。僕はベタな人間なので、どちらかというとワーッと歌いあげたいほうなんですけど、全然気持ちよく歌えない。でもついさっき、稽古をつけてくださっている岡田誠さんにも「感情を優先して短くしちゃってもいいですよ」と言われて、それで役柄の気持ちになって歌ってみたら、ぜんぜんそっちのほうがやりやすかったんですね。だからいま亜門さんが、作曲家が心情を優先して作曲しているという話を聞いてすごく納得がきました。

亜門 | 素晴らしい。いまの時点でそれに気付いたとしたら、もう安心ですね。

八嶋 | 取材だから少しいいように言ってるところはありますけどね(笑)。

—日本の鎖国を死守するために、浦賀奉行所の目付役に任命される香山弥左衛門。この役については、いまはどのような人物だと考えていますか。

八嶋 | 現時点では、ごくごくふつうのまじめなサラリーマンだと思っています。100%忠誠心だけで行動しているわけではなく、個人の考えと社会の考えをうまく調和させながらまじめに職務を遂行していく。ものすごい日本人の「最大公約数」的な考えを象徴するような人物だと思います。

亜門 | 根が純粹で清らかな人だから、最大限自分ができるところを努力する。そのなかで彼は後半にかけて急速に物質とか利便性とか新しさに走っていく。でもそれも日本の繁栄に対して「良かれ」と思っていることなんですけどね。

八嶋 | そうなんですよね。ただ周りに流されたり、上からの命令に従ったりしてる人物ではないんですよね。

亜門 | そう、本作では香山をはじめ、すべての役柄の意志がきちんと描かれているんです。全員が自分たちのドラマを生きている。それはこの作品のなかで歌われる、僕が大好きな『木の上に誰か』という楽曲にクリアにあらわれています。ある少年が、歴史的な大事件を木のうえから眺めている。視点は違えど、彼も歴史にかかわっている人間のひとりです。この世界で大切なのは森ではなく一本の木であり、海ではなくひとつの波であり、川ではなく小さな小石であると。そうしてひとりひとりの人間が、ときに意見を戦わせ、ときに調和しながら生きていく。そんなテーマが本流にながれている作品なんです。

八嶋 | なるほどね。なんだか四十をすぎて、こんなミュージカル作品に出逢えて本当にラッキーだと思ってきました。不安もありますけど、皆さんの足をひっぱらないようにきちんと頑張りたいです。

取材・文 岩城京子/神奈川芸術劇場クリエイティブパートナー
写真 大野純一



八嶋智人(俳優)
Norito Yashima

奈良県出身、1970年生まれ。中・高校生の同級生である松村武らとともに90年、劇団カムカムミニキーナを旗揚げ。以降、劇団の看板役者となる。

舞台を中心に、TVドラマ、映画など活躍の場を広げる一方、『トリビアの泉』『二人の食卓〜ありがたのレシピ』『英語でしゃべらナイト』などバラエティ番組のMCとしても活躍、多彩な才能を発揮している。

近年の出演作に、舞台では『橋を渡ったら泣け』(2007年)、『49日後…』(08年)、『夜の来訪者』(09年)、『エレガンス』(10年)。映画では『ぐるりのこと』、『秋、深き』(以上08年)、『つむじ風食堂の夜』(09年)、『おのぼり物語』(10年)。TVドラマでは『貧乏男子ボンビーメン』、『スクラップ・ティーチャー』(以上08年)、『ギネ・産婦人科の女たち』(09年)、『とめはねっ!』、『怪物くん』、『GM・踊れドクター』(以上10年)。

ヘアメイク(八嶋智人) 奥山信次

KAATオープニングラインナップ ミュージカル『太平洋序曲』

6月17日(金)～7月3日(日) KAAT神奈川芸術劇場 ホール
作詞・作曲: スティーブン・ソンドハイム
台本: ジョン・ワイドマン 演出・振付: 宮本亜門
出演: 八嶋智人、山本太郎、佐山陽規、田山涼成、桂米團治 他
チケット料金: S席8,500円～B席4,500円 他
Web予約 URL <http://www.kaat.jp/> (24時間)
☎045-662-8866(チケットかながわ: 10時～18時)



※公演日時等の詳細は4ページに掲載。

COLUMN 今月の小コラム

八嶋智人さんにQ&A

—横浜にまつわるなにか特別な思い出はありますか？

僕にとって横浜は最大のおしゃれデートの街ですね。学生時代にさんざんこの辺を歩きました。山下公園、港の見える丘公園、横浜赤レンガ倉庫……。とても楽しかったデートの思い出がある街です。

—2ヶ月まるまる海が見える場所で稽古なさるようになりますか？

僕は奈良県人ですから、海の側にいるというだけで少しスペシャルな気持ちになります。あとは2ヶ月稽古をするということ自体も、僕のような小劇場出身者には非常に贅沢なことです。でも今回はそれでも足りないぐらいだと思おうので、なるべくたくさん歌の自主稽古などに励もうと思っています。

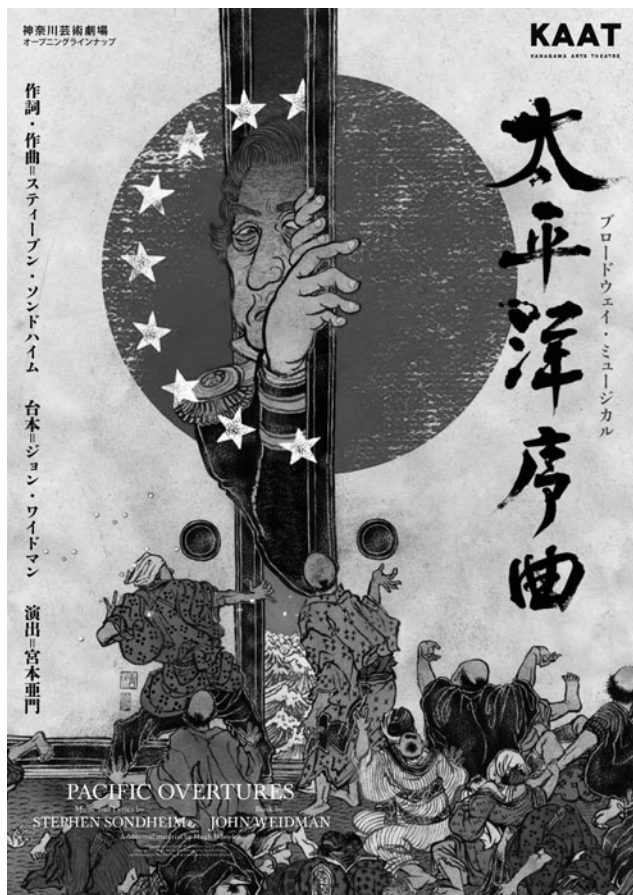
宮本亜門演出『太平洋序曲』 ここ神奈川より、6月に出航！

KAAT神奈川芸術劇場初のミュージカルが、芸術監督・宮本亜門演出の『太平洋序曲』だ。
2000年に新国立劇場で初演、2年後にはニューヨークとワシントンでの上演が実現。
さらに、04年にはブロードウェイに進出し、宮本は初のアジア人演出家として、ミュージカルのメッカで見事デビューを飾った。
奇しくも、『太平洋序曲』の舞台は、ここ神奈川。〈開国〉をテーマとした、この稀有な名作が、
かつて黒船の来航により、新しい文化・芸術の発信の地となった横浜で、今再び甦る。

日本が新たな扉を開いた時…

〈あらすじ〉

舞台は江戸時代末期。「鎖国破りの罪」で捕らえられた若者ジョン万次郎は、取り調べの際「アメリカが開国を迫りに日本へやってくる」という噂を伝えた。驚いた老中達は、浦賀奉行所の与力・香山弥左衛門に、アメリカがやってきた時のすべての交渉を任せさせたのだった。万次郎の言ったとおり黒船は浦賀に来航し、町は大混乱。香山は万次郎の助けを借り「開国できない」と必死に交渉するが、将軍がアメリカ大統領からの手紙を受け取る儀式を行わなければ、攻撃を受けることとなる。香山と万次郎は、この非常事態を奇策によって解決し、鎖国が守られたかに見えたが…。浦賀奉行として外国人との接触が多くなった香山は、否応無しに西洋文化に傾倒していく。その一方で、西洋文化を理解していたはずの万次郎は、日本文化の在り方を見つめ直していた。数年が経ち、香山は思いもかけない場所で万次郎と再会するが…。事態は思わぬ方へと向かってしまうのだった。



開国の顛末を描く異色ミュージカル

〈ブロードウェイ・ミュージカル〉と聞いて、きらびやかな衣装と豪華なセットで展開する、歌と踊りの饗宴を想像する人も多いだろう。しかし『太平洋序曲』は、その概念を打ち破る作品だ。冒頭で触れたように、舞台は江戸時代末期の日本。鎖国令をしいていた平和な国に、突如アメリカからの黒船が浦賀に来航し開国を迫る。続けて、欧州列強国のイギリス、オランダ、ロシア、フランスの司令官が通商を求め来日。為す術もなく鎖国を解くと、西洋文化が一気になだれこみ、時代の波に翻弄される日本人…。

粗筋はこういったところだが、ブロードウェイ・ミュージカルの歴史の中でも、そのテーマと切り口のユニークさは他に例を見ない。台本は、学生時代に日本史を学んだ、劇作家のジョン・ワイドマン。つまりは、アメリカ人の視点で捉えた日本変貌史なのだ。ただ、単なる歴史の紹介に留まらず、黒船との交渉にあたる香山弥左衛門と、アメリカ帰りの漁師ジョン万次郎を登場させて、彼らの皮肉な運命を描くことで、物語に厚みを持たせている。

『太平洋序曲』が、初めてブロードウェイで上演されたのは1976年のこと。後に『キャッツ』が大ロングランを記録するウィンター・ガーデン劇場に花道を作り、歌舞伎はもちろん、日本の伝統芸能の手法をふんだんに使用。エキゾチズムを強調した派手な演出は評価が分かれたが、作詞・作曲を手掛けたスティーブン・ソンドハイムの楽曲は賞賛された。本作最大の魅力のひとつが、彼が書き下ろしたミュージカル・ナンバーの素晴らしさなのだ。

巨匠ソンドハイムを唸らせた宮本演出

ジョニー・デップが殺人鬼を演じた、映画『スウィーニー・トッド』(2007年)を御覧になった方も多いだろう。あのホラー・ミュージカルの曲を作ったのがソンドハイム。おどろおどろしくも荘厳でドラマチックな楽曲は、強烈な印象を残したはずだ(この作品も元はブロードウェイ・ミュージカル。宮本の演出で、7月にKAATで上演予定)。

『スウィーニー』と『太平洋序曲』でお分かりのように、およそミュージカルには不向きな題材に敢えて挑み、質の高いナンバーを生み出すのが、ソンドハイムの凄腕の所。〈孤高の天才〉と呼ばれるゆえんである。『太平洋序曲』では、邦楽のエッセンスを取り入れ、すべての無駄を削ぎ落とした簡素な歌詞と、美しいメロディーラインが心に沁みる。特に、〈木の上に誰か〉やくプリティ・レディは、聴くたびに魅力を増す名曲だ。このソンドハイムの楽曲に刺激を受け、様式美さえ感じさせるシンプルかつ端正な演出で、本作に新たな生命を吹き込んだのが宮本だ。

『太平洋序曲』公演情報

6月17日(金)～7月3日(日) KAAT神奈川芸術劇場 ホール

作詞・作曲:スティーブン・ソンドハイム 台本:ジョン・ワイドマン

演出・振付:宮本亜門

出演:八嶋智人、山本太郎、佐山陽規、畠中洋、戸井勝海、園岡新太郎、岡田正、石鍋多加史、原田優一、富岡晃一郎、

石井一彰、さけもとあきら、岡田誠、麻乃佳世、小此木麻里、森加織、田川可奈美、田山涼成、桂米團治

S席8,500円 A席7,500円 B席(イス付立見席)4,500円 他 発売中

※U24チケット、高校生以下学生チケット、シルバーチケットなど別途あり(詳細はHPかお問い合わせ)

開演時間(予定)

	6/17 (金)	18 (土)	19 (日)	20 (月)	21 (火)	22 (水)	23 (木)	24 (金)	25 (土)	26 (日)	27 (月)	28 (火)	29 (水)	30 (木)	7/1 (金)	2 (土)	3 (日)
13:30		●	●						●	●							
14:00					休演	貸切	●				休演		●		●		
18:30		●							●	●						●	●
19:00	●			●				●				●		●			

■チケット・お問い合わせ

KAAT神奈川芸術劇場 URL <http://www.kaat.jp/> (24時間予約可能)

☎045-662-8866(チケットかながわ:10時～18時)



たけ おみ
西川武臣
横浜開港資料館
副館長



KAATにほど近い横浜開港資料館の地は、かつて日米和親条約が締結されるなど、日本の近代史の重要な舞台となった場所です。現在、ペリー上陸以後157年の歴史を紹介する企画展が開催されています。

開港資料館の中庭に1本のたまくすの木が繁っています。1854年、この木のそばでペリーと幕府が日米和親条約を締結し、日本は開国しました。続いてハリスと結んだ日米修好通商条約によって、1859年に横浜港が開港し、貿易が始まりました。こうして横浜は日本最大の国際都市になり、世界中の人々と日本人が交流する街として発展しました。開国・開港の目撃者となったたまくすの木は、それから現在までの157年間、横浜の歩みを見続けてきました。

この間、たまくすの木は、1866年に発生した大火と1923年の関東大震災で焼失しましたが、その度によりみがえり、現在では横浜と開港資料館のシンボルとして知られています。そこで、開港資料館では今年の4月27日(水)から7月24日(日)まで、たまくすの木が眺めてきたであろう157年間の横浜の歴史を紹介する企画展示(開館30周年記念 Part 1「たまくすの木が見た横浜の157年—ペリー来航から開港資料館まで—」)を開催することになりました。

開港資料館は、1981年の開館以来、近代横浜の歴史に関する資料(古文書・古写真・絵はがき・古地図・新聞・浮世絵など)を収集してきました。横浜は関東大震災と横浜大空襲によって大きな被害を受け、それ以前の横浜の歴史に関する資料をすべて焼失しました。そのため、開港資料館では失われた資料を復元するために関連資料の収集に努め、現在では25万点もの歴史資料を所蔵する国内有数の施設になりました。



ペリーが横浜に上陸した様子を描いた絵(横浜開港資料館所蔵)
ペリー艦隊の随行画家が描いた。右手に描かれた木がたまくすの木。
日米和親条約は左手の建物の中で締結された。

展示では、開港資料館が所蔵する資料からよりすぐりの資料を一堂に集め、日本の近代化の窓口となった横浜に暮らした人々の姿を紹介します。地域の歴史は多くの人々の人生によって構築されますが、これを機会にかつて横浜で生きた人々の人生に触れていただければと思います。また、時代ごとのたまくすの木の姿も紹介し、この木がどのように成長してきたのかも知っていただければと思います。

(横浜開港資料館 副館長 西川武臣)

横浜開港資料館 開館30周年記念 Part 1

「たまくすの木が見た横浜の157年—ペリー来航から開港資料館まで—」

開催中～7月24日(日)

開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館:月曜(ただし7月18日は開館)、7月19日

入館料:大人200円、小・中学生100円

*毎週土曜は高校生以下無料

お問合せ:☎045-201-2100

日本での初演は2000年(新国立劇場)。この公演を、折しも来日中のソンドハイムが観劇したことが幸いした。彼は、豊かな感性と創造力が息づく、宮本の緻密な演出を絶賛。02年に、ニューヨーク(リンカーン・センター)とワシントン(ケネディ・センター)での、宮本演出・日本人キャストによる上演を実現させたのだ(英語字幕付きの上演)。同年に、新国立劇場で凱旋公演。そして04年には、ついにブロードウェイへ進出を果たした。宮本は、ミュージカルの本場における初の東洋人演出家として、自らオーディションで抜擢したアジア系アメリカ人のキャストを率いて采配を振るい、トニー賞(演劇界のアカデミー賞)で、最優秀リバイバル作品賞を含む、4部門にノミネートという快挙を成し遂げた。

日本を再び見つめ直す

能舞台を思わせるセット、そしてスタイリッシュな演出も相まって、ミュージカルらしからぬ静寂感を感じさせる本作。ただ、女郎屋の女将が新米たちに商売の心得を仕込む〈ウェルカム・トゥ・神奈川〉や、通商を迫る各国の司令官たちが賑やかに歌い踊る〈プリーズ・ハロー〉などショーアップするコミカルなナンバーを、宮本は快テンポで演出。誰もが楽しめるエンタテインメント性を、きちんと盛り込んでいる点も見逃せない。

日本では9年ぶりとなる今回の公演は、キャストを一新。ミュージカルやクラシック音楽に精通する上方の落語家、桂米團治が作品の狂言廻しを務める他、八嶋智人、山本太郎、田山涼成、麻乃佳世ら、実力派が顔を揃える。また、ミュージカルからオペラまで多彩に活躍する、デイヴィッド・チャールズ・アベルが指揮を担当。スケールアップしたソンドハイム・サウンドが期待できそうだ。

そして11年版は、作品の舞台となる神奈川に誕生したKAAT神奈川芸術劇場での上演。今から150年以上も前に、西洋文化への門戸を開いた横浜が、今度は新たな創造の拠点として「日本とは?」と問いかける。本作のラストで歌われるのが、〈ネクスト〉というナンバーだ。第二次世界大戦後、アメリカに次ぐ経済大国へと成り上がった日本。原爆投下、9.11の同時多発テロ、イラク戦争への自衛隊派遣と、日米の激動の歴史を振り返りつつ、畳みかけるように歌われる。ひたすら前進を続けた結果、飽食の時代を乗り越えて、今や混迷を極めるNIPPON。〈ネクスト〉の次には、一体何が待ち受けているのか。「一夕の娯楽」には終わらずに、この国を再び見つめ直すことを教えてくれるミュージカル。それが『太平洋序曲』なのだ。(文 中島薫)

神奈川芸術劇場〈KAAT〉からのお知らせ

「KAATストリートダンスフェスティバル」記者発表

去る3月2日(水)、記者発表が都内で行われました。世界最大級のストリートダンスコンテストJapan Dance Delightの主宰者であるマシーン原田氏、振付家・ダンスカンパニー・カフィグ主宰のムラッド・メルズキ氏、神奈川芸術劇場の宮本亜門・芸術監督が登壇し、このフェスティバルにかける想いを語りました。会期は7月30日(土)～8月7日(日)。この間KAATはストリートダンス一色に染まります。①ヒップホップ・ガラ(海外カンパニーの舞台公演)、②ダンスコンテスト、③ダンスワークショップ、④フリンジイベントなど、様々な角度からストリートダンスにアプローチする1週間。ご期待ください!



右から、マシーン原田氏、宮本亜門KAAT芸術監督、ムラッド・メルズキ氏

丹沢・大山エリアに注目!

新緑のまぶしい初夏こそ、アウトドア・ライフを楽しめる丹沢・大山エリアに!

ハイキングやキャンプ、丹沢連峰の登山で、自然の息吹とアクティブに触れ合しましょう。



開成あじさいの里〜水田を彩る5000株のあじさい
6月上旬から中旬が見頃
お問合せ:開成町産業振興課 ☎0465-84-0317

① 丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園

「登山は丹沢に始まり丹沢に終わる」と言われるほど多くのファンをもつ丹沢山塊は、1673メートルの蛭ヶ岳を最高峰に、大室山、丹沢山、檜丸など1500メートル級の山々が連なる「神奈川県の屋根」。4〜5月の山開きを経て、今年も本格的なシーズンを迎える。ブナやモミの自然林、豊富な広葉樹、無数の滝と深い溪谷が、丹沢ならではの美しい景観を彩っている。

② 宮ヶ瀬湖

宮ヶ瀬湖は、首都圏最大級の水がめで、東京ドームのおよそ100倍の広さ。美しい景観が望める湖周辺にはハイキングエリアが広がり、豊かな自然と触れ合うことができる。また湖周辺の各エリアには「県立宮ヶ瀬やまなみセンター」「宮ヶ瀬湖 水の郷交流館」「宮ヶ瀬ダム 水とエネルギー館」「県立あいかわ公園」など、楽しみながら学べる施設がたくさんある。

お問合せ:財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団 ☎046-288-3600

③ 愛川町郷土資料館

愛川町の郷土資料を保存・展示し、情報発信拠点とするために設置された施設。県指定の文化財である「三増の獅子舞」を紹介するコーナー、タブノキの精が町の歴史を子どもたちに語りかける映像コーナーなど、工夫が凝らされている。宮ヶ瀬湖周辺にある「県立あいかわ公園」内。

開館時間:9:00〜17:00 月曜休館(祝日は除く)

お問合せ:資料館事務所 ☎046-280-1050

④ 伊勢原市立子ども科学館

プラネタリウム、工作・実験教室、天体観察会など、科学の楽しさを体験しながら学べる企画が盛りだくさん。プラネタリウムでは「銀河鉄道の夜」と「ムーミン谷の物語」が上映されている。

開館時間:9:00〜17:00 休館:月曜(祝日は除く)、第一水曜。

入館料+プラネタリウム観覧料:大人800円、

小中学生300円、4歳以上200円(入館料だけでも可)

お問合せ:☎0463-92-3600

⑤ 厚木市文化会館

丹沢山系を背に緑に囲まれた「県央のコア 文化の殿堂」。
厚木シアタープロジェクト 劇団扉座公演「アトムへの伝言」
6月11日(土)18:00開演、12日(日)14:00開演

厚木市文化会館小ホール

作・演出:横内謙介 出演:六角精児、山中崇史ほか

全席指定 前売り4,200円、当日4,500円、学生3,000円

お問合せ:同会館チケット予約センター ☎046-224-9999

⑥ 秦野市文化会館

丹沢の美しい山並みを望むカルチャーホール。

高嶋ちさ子〜12人のヴァイオリニスト 女神たちの響宴

6月19日(日)15:00開演 秦野市文化会館大ホール

曲目:カルメン幻想曲、ツィゴイネルワイゼン、タイスの瞑想曲ほか
全席指定 S席3,000円、A席2,000円

(未就学児のご入場はご遠慮ください)

お問合せ:秦野市文化会館事業協会 ☎0463-81-1211

*事前に各施設にお問合せのうえ、お出かけください。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 演奏会案内

第272回定期演奏会

5月28日(土)14:00開演

指揮:金聖響 マラー/交響曲第9番

第273回定期演奏会

6月24日(金)19:00開演

指揮:現田茂夫 ピアノ:外山啓介

團伊玖磨/交響曲第1番、ラフマニノフ/パガニーニの主題による狂詩曲、

チャイコフスキー/交響曲第5番

横浜みなとみらいホール 大ホール

S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生(B)1,000円

シニア(70歳以上)は各席種2割引

お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス ☎045-226-5107(平日10:00〜18:00)

http://www.kanaphil.com/ ※未就学児のご入場はご遠慮下さい。



金聖響

県立神奈川近代文学館 企画案内

「漱石と文人たちの書画」展

—夏目漱石、高浜虚子、武者小路実篤、中川一政らの館蔵コレクションによる—

中国古来、詩文の創作に携わる文人は書や絵画にも優れた腕前を発揮し、

多くの作品を残しています。本展は所蔵する資料の中から、

コレクションとしてまとまりのある書や絵画を【硯友社の人びと】【漱石とその周辺】

【白樺派の人びと】の3つの部門によって展示します。

夏目漱石の書画をはじめ、高浜虚子、武者小路実篤などの従来の館蔵品に加え、

画家で詩人、随筆家でもある中川一政のコレクションからその書画を紹介します。

6月11日(土)〜7月31日(日) ※休館日は7月18日を除く毎月曜日

一般400円、65歳以上/20歳未満及び学生200円、高校生100円、中学生以下は無料

神奈川近代文学館 第2展示室

※常設展・「文学の森へ 神奈川と作家たち」第3部と同時開催

〒231-0862 横浜市中区山手町110 ☎045-622-6666 http://www.kanabun.or.jp/

神奈川芸術プレス (KANAGAWA ARTS PRESS) 100号記念

読者の皆さまのおかげで、『神奈川芸術プレス』は創刊100号を迎えました。1994年3月の創刊から数多くのアーティストの方々にご登場いただき、表紙を飾ってもらいました。その中からよりすぐり10点の表紙をご紹介します。



1994年3月 Vol.1
記念すべき創刊号。表紙は世界的振付師・演出家のフリリップ・ドゥクフレの舞台写真。2003年には「IRIS」を県民ホールで世界初演。



1994年12月 Vol.4
みなさまご存じの横浜育ちのマエストロ、若かりし日の大野和士さん。フランス国立リヨン歌劇場の首席指揮者として活躍中。



2000年3月 Vol.33
県民ホールで「椿姫」の主役を踊った草刈民代さん。現在は女優として活躍中です。



2001年11月 Vol.43
オペラ「白墨の輪」の美術と衣裳を担当した串田和美さん。個性的な衣裳が印象的でした。



2005年7月 Vol.65
この年の神奈川国際芸術フェスティバルに登場したダンサー・振付家の勅使川原三郎さん。



2005年9月 Vol.66
新作オペラ「愛の白夜」を演出した白井晃さん。先月KAATで上演された「国民の映画」でも好演。



2008年3月 Vol.81
幅広い交友関係や文筆にも才能を発揮されている、ジャズピアニスト山下洋輔さん。佐渡裕さん指揮の東京フィルと競演。



2009年3月 Vol.87
アートディレクター・浅葉克己さんと神奈川芸術文化財団・芸術総監督の一柳慧。意外な共通項は「卓球」でした！



2010年5月 Vol.94
この号より現在のデザインに。今年1月にオープンしたKAATの芸術監督、宮本亜門。



2010年9月 Vol.96
年末の県民ホールではおなじみ、世界で活躍する、神奈川出身のバレエダンサー、上野水香さん。

表紙ができるまで



毎号、第一線で活躍するクリエイターやアーティストたちが表紙を飾る「神奈川芸術プレス」。今回は、そんな表紙撮影の舞台裏をちょっぴりご紹介します。

表紙の写真は、巻頭インタビューと同じタイミングで撮影されます。撮影クルーは取材開始時間の30分前に会場に入り、照明やらバック紙やらをテキパキとセッティング。編集部員をモデルにテスト撮影をし、準備を整えます。

今回の表紙は俳優の八嶋智人さん。メイクが完了したところで取材スタートです。最初に前号までの表紙を順に見てもらい、どんな撮影なのかを説明します。いざ撮影が始まりポーズをとると、さすが俳優さん！ぴしっといい顔をすぐにしていただきました。

撮影中、カメラマンの大野さんは「さっき駐車場でお会いしましたよね？ いい車ですね～」とシャッターを切りながらトークを重ねて、緊張をほぐしていきます。すると八嶋さんの表情がぐっと和やかになり、また違った表情が引き出されます。15分ほどで表紙の撮影は終了。そのあとインタビューが行われます。取材後数日して写真が仕上がると、あとはアートディレクターさんの出番。素敵な表紙のでき上がりを待たばかりです。

毎号、このような行程を経てでき上がる「神奈川芸術プレス」の表紙。次号もお楽しみに。

撮影：大野純一 アートディレクター：本田宏一

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員

愛知株式会社
株式会社アクトエンジニアリング
株式会社朝日工業社横浜支店
学校法人岩崎学園
株式会社NHKアート
株式会社オーチャー
神奈川県民共済生活協同組合
株式会社神奈川孔文社
株式会社キョウエイ装備
株式会社合同通信
株式会社さが美

生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ
生活クラブ生活協同組合
株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
株式会社東急スペース開発
ナイス株式会社
奈良建設株式会社
株式会社日建設
日生商工株式会社
日立電子サービス株式会社
平安堂薬局
三沢電機株式会社
森平舞台機構株式会社
株式会社コニコーン

横浜信用金庫
株式会社横浜ステーションビル
永年個人賛助会員
川村恒明
個人賛助会員
江田真子
能舞台協賛
ナイス株式会社
協力
野村證券株式会社横浜支店
聘珍樓 横浜本店
三菱地所株式会社
(匿名：1社、1名)

KAAT神奈川芸術劇場 御協賛

朝日新聞社
アサヒビール株式会社
エバラ食品
神奈川県信用保証協会
かをり商事株式会社
株式会社キタムラ
崎陽軒
株式会社合同通信
株式会社ジェイコム湘南
東京ガス株式会社
日産自動車株式会社
株式会社野毛印刷社

パナソニック電工株式会社
びあ株式会社
日立電子サービス株式会社
株式会社ファンケル
公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
株式会社ホテル・ニューグランド
株式会社ボンパドウル
株式会社みずほ銀行横浜支店
株式会社豊商会
横浜銀行
株式会社横浜ステーションビル
リスト株式会社

(2011年4月12日現在)

WHAT'S ON? 07

横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ



① 横浜セントラルタウンフェスティバル「Y152」 ～横浜から愛をこめて～

6月3日(金)・4日(土)・5日(日)
馬車道、関内、山下公園通り、中華街、元町、山手の6エリアで開催。開港150年という節目を迎えた翌年から、6月1日の開港祭付近の週末に行われている。
お問合せ：☎045-641-1557(フェスティバル事務局)



チャールズ・ワグマン：
西洋紳士スケッチの図
1870年代、郡山市立美術館所蔵

② 神奈川県立歴史博物館 特別展「ワグマンが見た海一洋の東西を結んだ画家―」

6月11日(土)～7月31日(日)
英国人報道画家チャールズ・ワグマンが見た幕末明治の日本を紹介する。
開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで) 7月18日を除く月曜日は休館
観覧料：一般900円 20歳未満・学生600円 65歳以上・高校生100円
お問合せ：☎045-201-0926



萩野由美子

③ 神奈川県民ホール パイプオルガン・プロムナード・コンサートVol.305

7月22日(金) 12:20開演(12:00開場) 小ホール
オルガン：萩野由美子 ソプラノ：寺島夕紗子
今年のテーマは「祈り」。寺島尚彦「さとうきび畑」をオルガンとともに聴きいただきます。
全席自由・入場無料 ※就学前のお子さまの入場はご遠慮ください。
お問合せ：☎045-633-3686

KANAGAWA PEOPLE 01

茅ヶ崎は私のベース、心のよりどころです。ここでは、自然とスローダウンでき、素の自分に帰れるように思います。神奈川ならではの自然との触れ合い、空気が大好きです。

海のすぐ近くに住んでいましたので、子どもの頃は毎日のように裸足で砂浜を走り回っていました。なにしろ体を動かすことが大好きで、バレエやフィギュアスケート、器械体操などいろいろなスポーツを楽しんでいましたね。テニスのレッスンを始めたのも茅ヶ崎、ホームコートもここです。12年前、テニスアカデミーを開くことにしたときも、当然のように茅ヶ崎を選びました。

テニスを通じていろいろな人と出会い、私の人生が大きく広がりました。好きなことに打ち込んでこられたのも、いつでも帰ってくるのできるベースがあったおかげです。これからは、スポーツのすばらしさを多くの人に伝えることで、私らしいかたちで、テニスに、茅ヶ崎にも恩返しできればいいと思っています。



杉山愛(プロテニスプレイヤー)
17歳から17年のプロツアーで数々の記録を樹立。現役引退後、女子選手をサポートする「Road to Grand Slam」プロジェクトなど、多方面で活躍している。



森さんぽ 7

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜散歩

たまくすの木

横浜開港資料館の中庭に植えられた「たまくす」は、開港の歴史を見守ってきた生き証人でもあります。開催中の企画展では、157年間の、たまくすの木の成長についても紹介されています。

(企画展についてはP5をご覧ください。)



県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info/> 「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

くらべて選ぶなら 野村證券

世界を舞台にした豊富な品揃え、キメ細やかなサービス体制。
あなたに総合的にご満足いただける、アドバイザーになることを目指しています。

野村證券(株)横浜支店 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-5-10 TEL 045-311-1671

■窓口営業時間 平日 午前9:00～午後3:30 ■電話受付時間 平日 午前8:40～午後5:10

